

秩父農林振興センターだより

第20号 令和2年3月発行

発行 埼玉県秩父農林振興センター
秩父市日野田町 1-1-44 Tel 0494(24)7211(代表)

お知らせ

始めませんか？ S - G A P

S-GAP は「発見」と「改善」

GAPとは「Good Agricultural Practice (良い農業の実践)」の頭文字をとったものです。

GAPは普段の農作業や経営管理に潜むリスクや課題を発見・改善すること。そして、食品安全・環境保全・労働安全に配慮した農業を持続的に実践するための取り組みです。

県では、多くの農業者の皆様にご協力いただき、埼玉県オリジナルのGAPである「S-GAP」の普及を推進しています。

ここでは当センター管内でS-GAPを実践されている観光農園の取り組み事例を2つ御紹介します。

危険な場所への注意喚起表示

いちごハウス内にある蜂の巣箱に注意喚起表示をしています。また、外国人のお客様にも理解できるように英語も併記しています。



ぶどう狩りお客様への安全性の配慮

従業員用のはさみは尖っており危険ですが、お客様用に先の丸いはさみを使用することで安全が確保できます。

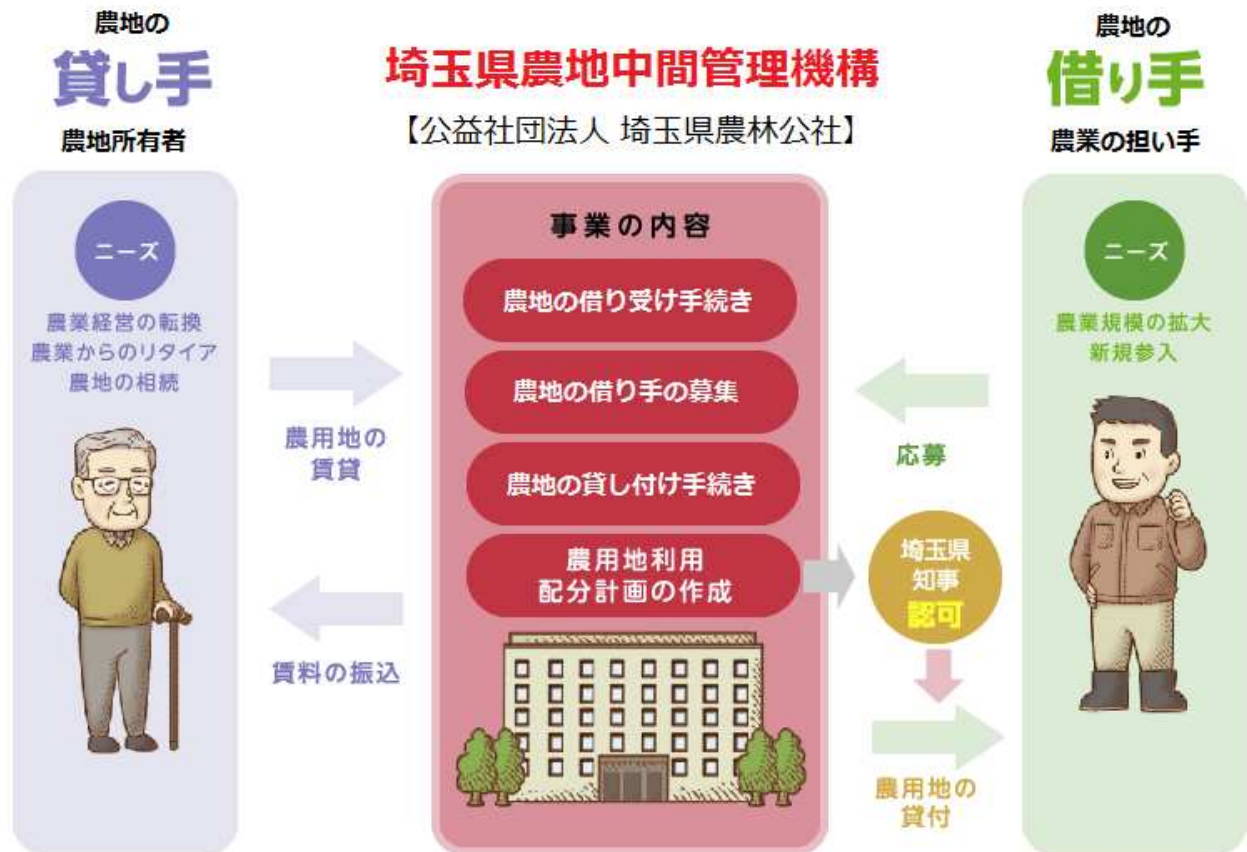


S-GAP 農場評価は「無料」です

具体例で示したように、普段の取り組みを見直し、ひと工夫加えることがGAP実践の第一歩です。S-GAPに必要な農場評価は無料です。お気軽に当センターに御相談ください。

農地中間管理事業を活用しませんか？

農地中間管理事業は、「高齢化」や「後継者がいない」などの理由で耕作できない農地を、担い手農家に貸し付ける国の制度です。ご相談は当センター、埼玉県農林公社、市町村へどうぞ。



万一、借り手が契約解除した場合、機構と県、市町村、JAが連携して新たな借り手を探します。借り手が見つかるまでの一定期間、機構が農地の保安全管理を行います。

農地の貸し手のメリット

農地の貸付先は、公的機関の農地中間管理機構（埼玉県農林公社）で安心です。毎年、機構から貸し手に対して借入状況をお知らせしています。権利の種類は「利用権」ですので、所有権（登記簿）はそのままです。契約期間終了後、農地は自動的にお手元に戻ります。引き続き、契約延長も可能です。賃借料がある場合は、機構から貸し手の口座にまとめてお振込みします。相続税の納税猶予、農業者年金は原則としてそのまま継続されます。

農地の借り手のメリット

農地を長期間、安定して借りることができます。また、農地の団地化が容易になります。複数の地主がいても、契約や賃借料の支払いが1本化されるので、事務が軽減できます。国の支援施策で予算の優先配分を受けることができる事業が多数あります。

中山間地域等直接支払制度のご紹介

集落の農業活動に交付金が支払われます

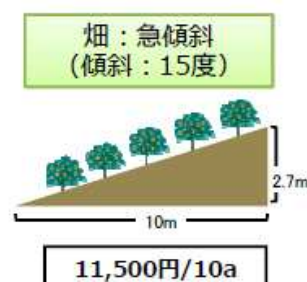
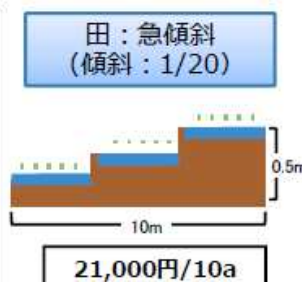
中山間地域等直接支払制度とは、農業生産条件が不利な中山間地域において、農業活動を継続するための支援制度です。

地域内において、農地を維持するための5年間の協定を結び、活動を行うことで、国から協定地域に交付金が支給されます。

交付金は、草刈りや農道の補修等の共同活動費や農業機械の購入、鳥獣害対策など、幅広い用途にお使いいただけます。

交付イメージ

地目	区分	交付単価 (円/10a)
田	急傾斜 (1/20~)	21,000
	緩傾斜 (1/100~)	8,000
畑	急傾斜 (15度~)	11,500
	緩傾斜 (8度~)	3,500



(例1) 地区の農地面積が3ha(急傾斜・畑)の場合、年間34万5千円が地区に交付されます。

(例2) 地区の農地面積が5ha(緩傾斜・田)の場合、年間40万円が地区に交付されます。

すでに多くの集落が取り組んでいます

令和元年度は、当センター管内で35の地域が制度を活用しています。

この制度を活用し、耕作や農地の維持管理を共同で実施することで、耕作放棄の防止だけでなく、美しい景観の保全や地域の活性化などの効果も生まれています。

令和2年度から制度の見直しが行われ、交付金の返還措置の緩和や農地の担い手確保支援など、これまで以上に取組みやすい制度になります。

貴重な財産である中山間地域の農地を次代に受け継いでいくため、多くの地域でこの制度を活用していただきたいと思います。

制度にご興味のある方は、お気軽に当センター管理部にお尋ねください。



所有する森林の経営管理に関するアンケートに御協力ください

森林所有者の皆様にはアンケートをお願いしています

当センターが参画している「秩父地域森林林業活性化協議会」では、森林経営管理制度に基づき、森林所有者の皆様が所有する森林を「今後どのように経営や管理をしていきたいか」の意向を確認するため、アンケートを送付しています。

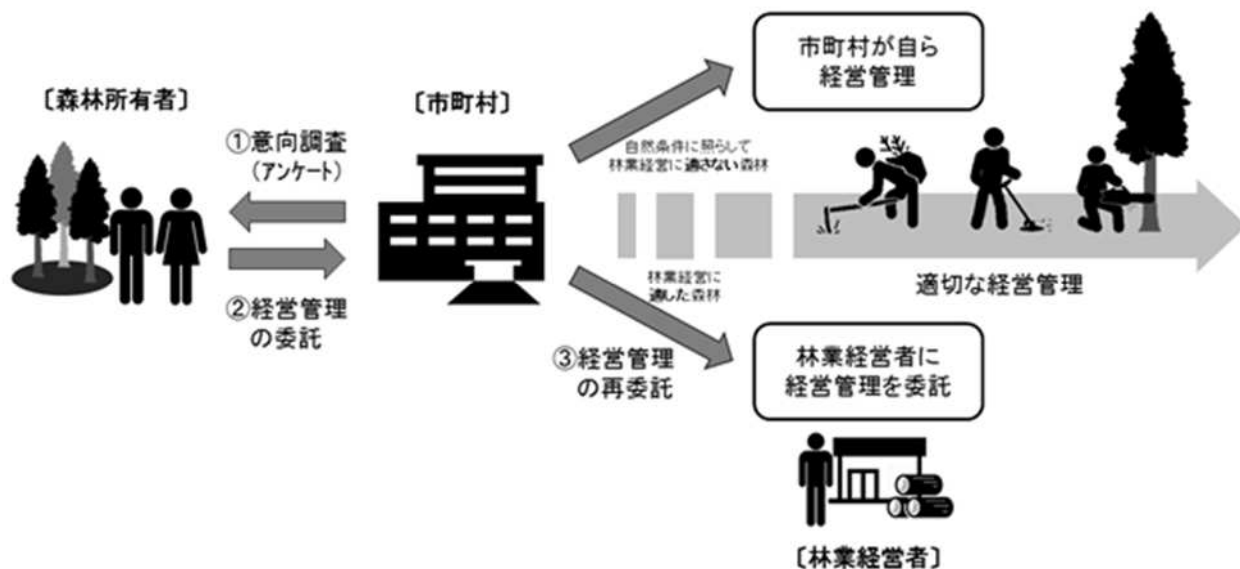
この意向確認は、市町村に森林の経営や管理を委託されることで、「植える」「育てる」「伐る」といった作業を適時に行うために実施しています。

具体的には、林業に適した森林は、市町村から林業経営者に林業経営を委託し、林業に適さない森林は、水源かん養などの機能が果たせるように管理されます（下図参照）。

すぐに経営管理の委託に移れない森林もありますが、順次、市町村が適切に経営管理していきます。秩父地域の森林の適切な経営管理を推進するため、アンケートへの回答に御協力くださいますようお願いいたします。

秩父地域の国、県、市町、林業関係団体が一体となって取り組む体制として、森林経営管理制度開始前に設立されました。制度開始とともに、協議会に新たに集約化推進室を設け、この取組みにあたっています。

森林経営管理制度の概要



秩父産山田錦の日本酒できました！

オール秩父産の日本酒造りへ

株式会社矢尾本店、武甲酒造株式会社の2社は、県の「地域ものづくりブランド力強化支援事業」を活用し、市内吉田地区農家の町田一郎氏、JAちちぶとタッグを組み「酒造好適米『山田錦』」による“純秩父産”日本酒製造プロジェクトを進めてきました。

令和元年6月5日に関係者による田植えが行われ、心配された台風による倒伏もなく、10月21日に収穫されました。

収穫された2,040kgの山田錦は11月13日にJAちちぶにより農産物検査が行われ、半量ずつそれぞれの酒蔵に出荷されました。



良いお酒ができました

12月末頃から両社の仕込みが始まり、それぞれの酒蔵の個性が光る「秩父産山田錦の日本酒」が2月末に出来上がったばかりです。どちらの酒造も「かなり良い出来」「自信作」とのことです。



酒米も酵母も水も全て「純秩父産」の日本酒、この機会に是非お味見してみたいはいかがでしょうか？

当センターでは、秩父産山田錦を使った日本酒を多くの方々に楽しんでいただけるよう、引き続き酒米の栽培支援を行っていきます。

写真左：「秩父錦秩父産山田錦（720ml）」
1,800円(税別)（株式会社矢尾本店）

写真右：「武甲正宗彩虹（720ml）」
2,100円(税別)（武甲酒造株式会社）

販売開始日：いずれも令和2年3月16日

小松沢レジャー農園（横瀬町）が 第49回 日本農業賞 大賞を受賞しました！

食と農のテーマパーク

総合観光農園である小松沢レジャー農園（代表取締役 町田恒夫氏）は、ブドウ狩り、イチゴ狩り、原木栽培のシイタケ狩りなどの収穫体験を中心に、溪流でのマス釣り、昆虫採集、うどん・そば打ち体験など、一年を通じて農業・農村体験ができる施設で、さながら“食と農のテーマパーク”の観を呈しています。

農業技術も高く、秩父地域のいちご食味審査会「いちごグランプリ2019」では、県育成品種「あまりん」でグランプリを受賞するなど他の模範となっています。



町田恒夫・喜美子 夫妻

今回で2度目の受賞

小松沢レジャー農園の農業賞受賞は今回で2度目。平成元年度には観光農園の先駆けとして「日本農業賞銀賞」を受賞しました。

そしてこのたび、第49回日本農業賞に埼玉県代表として推薦され、経営・技術にすぐれ、地域社会の支持と共感を得ている個別経営体として「個別経営の部」で大賞を受賞しました。

銀賞の受賞から30年、規模拡大やサービスの充実など経営を着実に発展させ、今では年間10万人の来園者を誇る県内随一の観光農園にまで成長したことが高く評価されました。

表彰式は、3月7日にNHKホールで行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため残念ながら中止となりました。

小松沢レジャー農園の経営については、NHKとJA全中が発行する事例集のほか、多くの媒体を通じて紹介される予定です。

これからも、観光農園のトップランナーとして活躍を続けていくことでしょう。

「布里田中の地域資源を保全する会」が 関東農政局多面的機能発揮促進事業局長表彰優秀賞を受賞しました！

関東農政局「多面的機能発揮促進事業」局長表彰とは、多面的機能支払いにかかる活動を積極的に取り組み、模範となる活動を行っている活動組織を表彰するものです。令和元年度で2回目を迎えます。今年度、秩父市で活動する「布里田中の地域資源を保全する会」が優秀賞に輝きました。

地域ぐるみの活動が 評価されました！

「布里田中の地域資源を保全する会」は、平成19年に活動をスタート。

非農家も含めた地域全体での水路の泥上げなどの地域保全活動や、カブトエビやホウネンエビといった地域の希少生物を活用した減農薬栽培の推進、ホタルの生息する水路の整備や植栽による景観づくりなどの環境保全活動に取り組んでいます。

また、小学校と連携した農業体験などの環境学習や女性の参加を積極的に推進するなど、幅広い活動を展開しているのも特徴です。

これらの活動が多面的機能の発揮や良好な地域社会の形成に貢献している点が評価されました。



カブトエビ



共同活動の例

美しい「布里田中」を 訪れてみませんか？

本活動組織が位置する秩父市吉田の布里田中地区では、秩父地域の中でもブルーベリーが盛んに栽培されている地域です。

ほかにも、4月から5月はミツバツツジ、6月下旬はホタルまつり、9月中旬は曼珠沙華と季節ごとに訪問者を楽しませてくれるところでもあります。

これらの地域資源は、本組織の活動の賜物です。皆さんもぜひ布里田中地区に足を運び、農業・農村が有する多面的機能の恵みを享受してみてください。

農業用ため池「姿の池」 ～ 耐震対策工事の完成に向けて～

横瀬町大字横瀬地内に位置する「姿の池」は、芝桜で有名な羊山公園に隣接したとても景観のよいため池で、主に水稻のかんがい用水に利用されています。

当センターでは、平成29年度から3年かけて耐震対策工事を実施しました。

ため池の耐震対策工事というと、堤体を盛土して補強するのが通常の工法ですが、「姿の池」は堤体下流に民家が迫っており、堤体を大きくすることができません。

そのためこの工事では、堤体を約1m切り下げ、堤体の重心を下げて安定を図ることとしました。

耐震化工事へ

平成29年度は設計を行い、平成30年度は取水塔（農業用水を取水する設備）と洪水吐け（一定水位になると池の水を河川に放流する設備）の整備を行いました。

令和元年度は堤体の切り下げを行い、堤体上部の道路を整備し地域住民の利便性も向上しました。

工事の完成により、地域の安全を確保するとともに、農業用水の安定供給を図りました。

しかし、近年は異常気象が多発していますので、工事を行ったから安心と過信せず、ハザードマップを確認するなど、常日頃から災害への備えを怠らないようにお願いします。

施行前



施行後



堤体上部道路



消費者の皆様へ森林認証材「秩父材」を安定的にお届けします

適切な森林管理の証

年間24回の丸太公売を行っている秩父広域森林組合の秩父木材センターが本年12月、我が国の森林認証制度の機関SGEC(エスジェック)から「CoC(シーオーシー)認証¹」の認定を受けました。

森林認証制度とは、健全な森林を育てて自然環境を守るため、持続可能な森林管理の国際基準によって、林業・木材業者を審査し、木材が適正に管理された森林から伐採されてきたものであることを証明するための仕組みです。

この認証は、森林管理者向けの「FM(エフエム)認証²」と木材・加工流通業者向けの「CoC認証」からなっています。

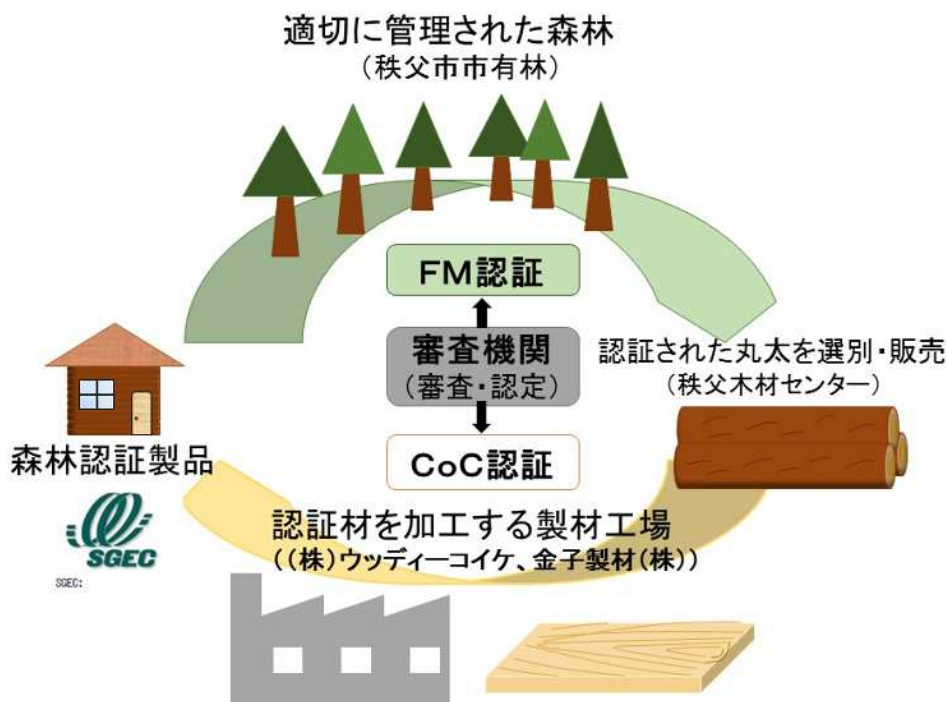
秩父地域では、これまで市有林を管理する秩父市がFM認証、株式会社ウッディーコイケと金子製材株式会社がCoC認証の認定を受けています。

このたび、秩父木材センターが加わったことにより、大工・工務店などを通じて、秩父材を森林認証材として安定的に供給できるようになりました。

森林認証材にはロゴマークが付けられていますので、森林と自然環境の保全につなげるため、認証ロゴマーク入りの木材製品をぜひお選びください。



- 1 加工流通の過程で、認証された木材が他の木材と区別・識別されているかを評価するもの
- 2 社会・経済・環境の観点から、適切な森林管理がなされていることを評価するもの



「スマート林業」始めています
 森林 3 次元計測システムで森林資源量調査を行いました

「伐って・使って、植えて、育てる」といった森林の循環利用を進める中で木材を積極的に使うことは、地域の林業・木材加工産業全体に活気をもたらします。

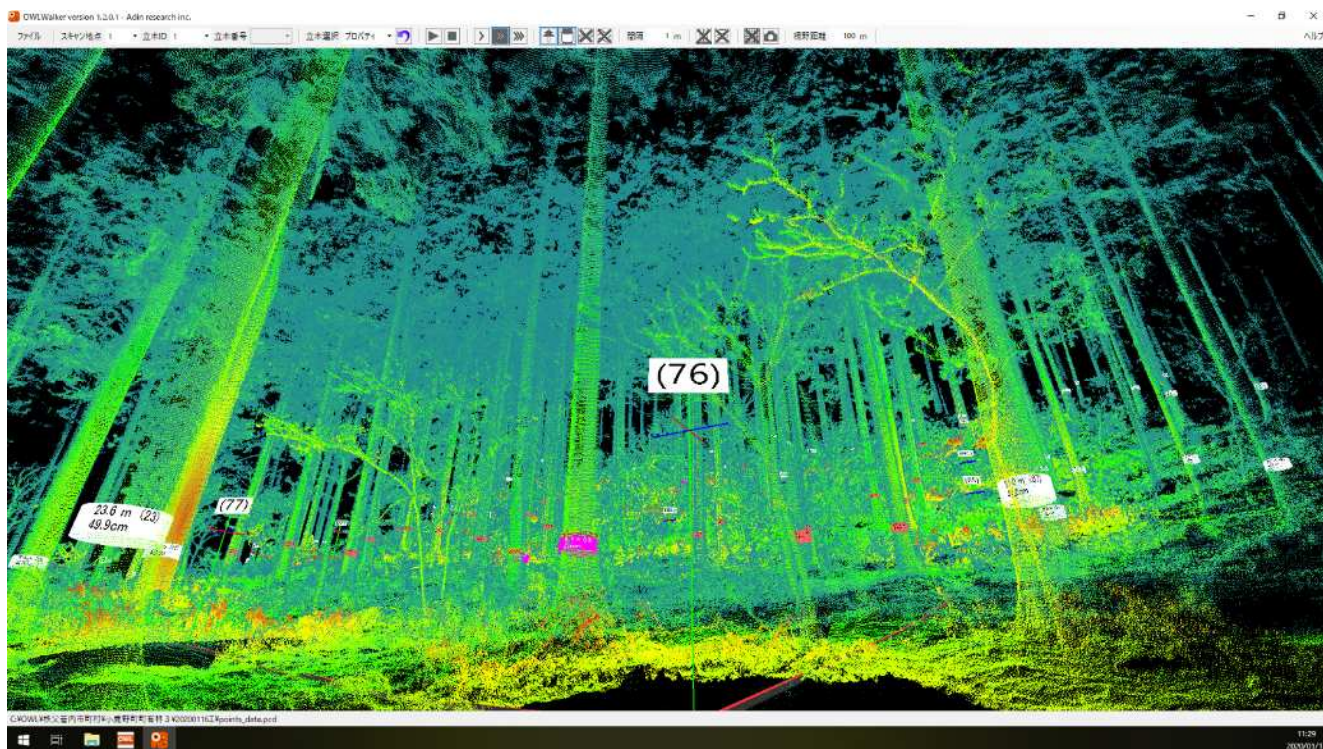
建替えの決まった小鹿野町庁舎は、町有林の豊富な森林資源を生かした木の庁舎となる予定です。このため前もって町有林の木材資源量を把握する必要がありました。当センター林業部では、正確に資源を測るための最新技術「森林 3 次元計測システム OWL (アウル)」を使って、町の職員と一緒に測樹¹を行いました。



この森林の木の本数や太さを

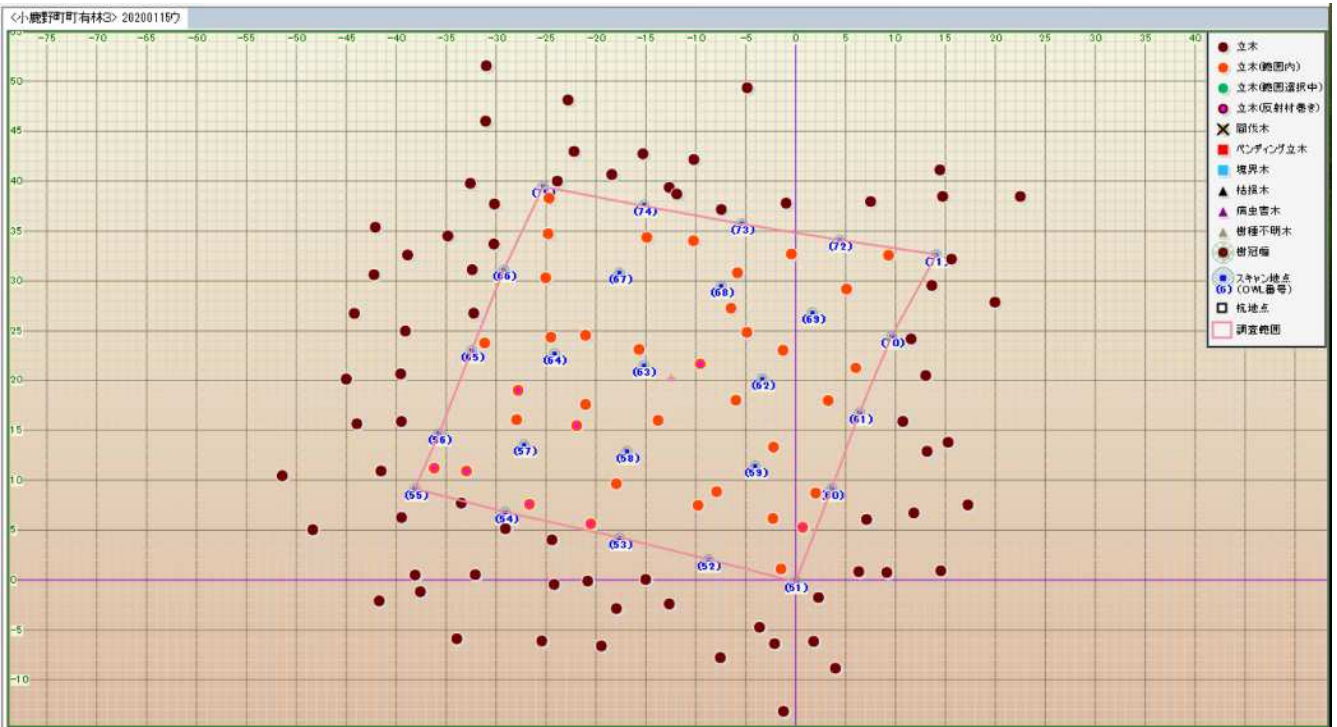


このような機械を使って測定すると...



なんと！本数や太さを一瞬で判別！

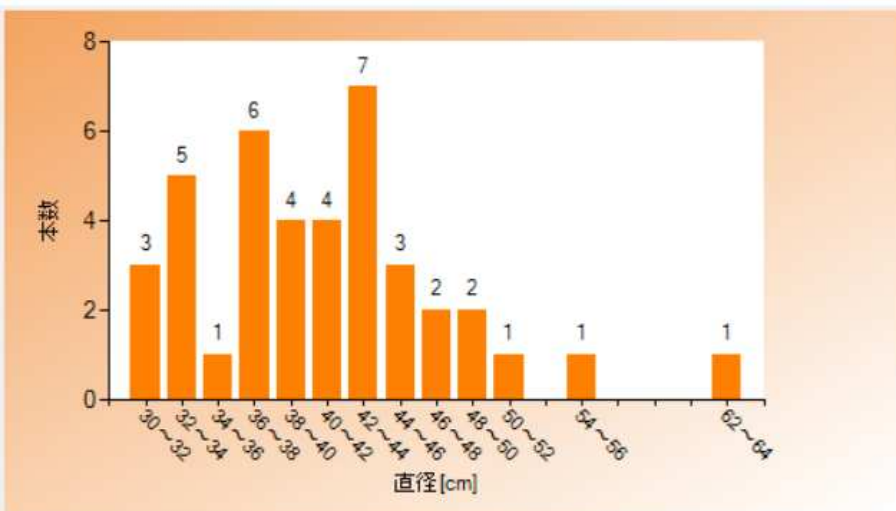
従来の方法では、一本一本全ての木について、太さや高さ、曲がり等を測り、野帳²に記入していきます。新しい方法では、アウルから森林の中へレーザーを照射して太さなどの情報を得るため、木に触れることすらありません。現地の作業条件をあらかじめ整えておけば一人でも測定可能で、作業時間を大幅に減らすことができるようになりました。



解析は、専用ソフトが短時間で計算しその結果を図表にしてくれるので、野帳からの面倒なデータ入力も不要となります。

また、木の直径、樹高、曲がり、材積といった個々の数値の他に、全体量の推計といった統計値も提供できますし、GPSと連動した3次元データで平面図の作図はもちろん、グラフィック化された森の中を自由に見て回り、木の特徴を立体的に確認できる機能もあります。

直径分布図【<小鹿野町町有林3> 20200116ア】



× 林業のコストダウンを実現するためには、森林資源の現地調査も効率化して、高い精度で管理していくことが求められています。

県では林業関係者への機械の貸出も行っておりますので、お気軽にご相談ください。

- 1 材積を算出するために木の太さや高さなどを測ること
- 2 山の中でも持ち運びやすいようにポケットに入るくらいの厚表紙のノート。防水仕様もある。

台風19号で被災した森林管理道の調査にドローンが活躍！

被災現場は 危険がいっぱい

令和元年10月に襲来した台風19号により、管内の森林管理道にも過去に例を見ないほどの甚大な災害が発生しました。

山間地域を走る森林管理道の被災調査は、いくつもの崩落箇所を越えて行くなど、危険な状態で行います。

そこで、近年導入したドローンを飛ばして撮影した写真や動画で、被災状況の全体像の把握、崩落面の状況を確認しながら、国へ提出する災害査定資料の作成などを行いました。



活用したドローン（MAVIC 2 PRO）

被災現場を空から見ると

ドローンの操縦には、ある程度の操作訓練と航空法などの知識を必要としますが、空中を安定して飛行し三次元で撮影できる特性により、山間部の被災地域でも安全で効率的な調査が可能となります。

被災した森林管理道は危険な状態のため、当面の間、通行止めにしており利用者の皆さまにはご不便をおかけしていますが、今後、順次復旧工事を行って安全を確保し、森林管理道の早期の開通を目指していきます。



被災した二子線を上空から撮影